

2006年度（後期） 学生による授業評価アンケート調査
「アンケート結果に応じて」

所属部局	人文学部		氏名	山下秀智	
講義番号	1820J152		担当科目名	哲学の世界	
開講曜日	火曜日	1・2時限	専門科目		
授業回数	14回	休講回数	0回	補講回数	0回
受講登録者数	183人	成績評価対象者数	172人	授業放棄者数	11人
成績評価に際し注意した事項					
<p>レポートと出席で成績をつけたが、レポートに関して言えば、テキストの要旨をしっかりとまとめているか、その要旨に対して自分の見解が論理的に展開されているかを重視した。</p>					
報告内容					
<p>1. この授業は、今回始めてカリキュラムに入った科目であり、社会学科以外の学科の一年生対象であった。しかも、哲学の入門の授業で、担当者としても、工夫を要した。しかし、カルテを見る限り、工夫はあまり評価されておらず、がっかりである。テキストには定評のあるヤスパースの『哲学入門』を選び、しかも、その内容をパワーポイントで、出来るだけわかりやすく説明しようと試みたが、「授業の難易度は妥当である」が35.0パーセントであった。内容そのものが難しかったと考えるべきだが、いったい哲学の基本的な思考内容を、何か分かりやすく出来るのだろうか。学生の側に、そうした内容を理解するセンスが欠如してきているのではないか。どうも、教える側の問題ばかりでないように思える。</p> <p>2. 板書が読みにくいのが、53.7パーセントだった。そもそもスライドの説明のために側面にある黒板を使ったのだから、メモになるのは当然である。今回の結果を見て、パワーポイントの使用について悩んでいる。やはり、何か安易に理解できるような印象を与えてしまっているのではないか。</p> <p>3. 授業の進度が適切であるが、カテゴリー1になっている。これは次回からも守りたい。</p> <p>4. 学生に望むことは、やはり知識よりも、もっといろいろな本を読み、よく考える思考力を付けてもらいたい。</p>					